

アランマーレ ホーム戦

秋田市の秋田商業高校（瀧澤徳彦校長）の3年生約230人が、バスケットボール女子Wリーグのアランマーレ秋田のホームゲームに多くの観客を集めようとする会場で行うイベントを企画し、選手らの前でアイディアを披露した。若い女性をターゲットに県産食材を使った食品を販売する案が最優秀賞に選ばれ、10月15日に県立体育館で行われる試合で実現が検討されている。

3年生の必修科目「総合実践」の環。会計・流通経済グループに分かれ、アランマーレを運営するプレス टीम・インターナショナルの社員らとともに5月から準備を重ねてきた。会計やマーケティング、情報処理など生徒が各コースで学んできた専門知識を持ち寄

# 秋商生 集客へ企画続々

り、どうすれば実現しやすく人が集まる企画になるのか意見を出し合った。プレス टीम社員は、企画の目的を常に意識することなどを助言したという。

今月12、13日に、秋田商高で発表会を開催。13日はアランマーレの平松飛鳥主将、高野柚希選手、高橋悠佳選手が審判員として参加し、各グループの代表が4分の持ち時間で企画のコンセプトやターゲット、宣伝方法などを発表した。食べ物の販売くじ引き、フリスローゲームといった多彩な案が出された。

県産食材を使った食品の販売を提案したグループは、ラズベリーとセリイを使いチームカラーであるオレンジと青を表現した飲み物など提供メニューを具体的に挙げて紹介。地産地消で地域を手助けできる点や、チームの知名度アップにつながる点など期待される効果も示した。最優秀賞に選ばれたグルー

## 来月15日、実施検討 飲み物など提供予定



アランマーレの試合を盛り上げる企画案を発表する生徒

プのメンバーの唐土愛、生さん（3年）は「学んできたことを生かし、みんなで意見を出し合った。うまく伝えられるか不安もあったが、何とか成功できた」とほっとした表情を浮かべた。アランマーレの平松主将は「このグループからもアランマーレを盛り上げようという気持ち伝わってきてうれしかった。地域貢献や女性活躍

は私たちもチームのコンセプトとして掲げているテーマ。ぜひホームゲームで実現してほしい」と話した。

食品販売の企画案は、10月15日のホームゲームでの実施に向け、プレス टीम社員らが内容を精査中。地元飲食店に協力を呼びかけるなどして実現できるか検討している。

（清水美沙）